生命（いのち）の安全教育について



関　晴美
（せき はるみ）

録画映像
はこちら

スマホサポーター養成講座とデジタルデバイド対策について

スマホサポーター養成講座の目的について。

総務部長　スマートフォンの知識や操作技術を学んでもらい、知識の習得後は、講師的な立場になり、地域において、スマートフォンの使い方を教えられるスマホサポーターとして活躍してもらうことを想定している。スマホサポーターがキーパーソンとなり、地域における「人と人とのつながり」や「地域の活力」に発展することを大いに期待している。

今後の養成講座とデジタルデバイド対策について。

総務部長　「ＤＸで実現する市役所の姿」として、誰でも、いつでも、どこでも、簡単に行政手続ができることを目指している。今後も、これまで実施してきた事業を継続するとともに、「スマホサポーター養成講座」や「初心者向けのスマホ教室」についても引き続き開催し、デジタルデバイドの解消に努めていく。

生命（いのち）の安全教育について

本市における生命の安全教育の現状について。

教育部長　自分の体を大切にすることや、嫌なことをされたときには「いや」と伝えてよいこと、困ったときには信頼できる大人に相談することなど、基本的な内容から学び、学年が上がるにつれて、心身の発達や人間関係、性に関する正しい知識、ＳＮＳ等を介したトラブルなど、発達段階に応じて内容を深めた指導を行っている。

今後、生命の安全教育を推進する考えは。

教育長　教職員、家庭、地域がそれぞれの立場から子どもたちを支えていくことが必要である。これまで各学校で取り組んできた保健教育、人権教育、道徳教育、情報モラル教育などを生かしながら、発達段階に応じた生命の安全教育を進めていく。



※一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。